

MOZART The 250th anniversary birth

今年はやっぱり“Mozart”

～モーツァルト時代のピアノを聴いてみよう!～

モーツァルトは  
ピアノがとても達者で  
大好きだったん  
だって!



神童モーツァルト(1756-1791)は、人生の3分の1を演奏旅行  
出会いは人を成長させる…

ヨーロッパ中を巡り、訪れた先々での数多くの出会いによってその才  
能をより開花させたモーツァルトは、交響曲や協奏曲、オペラや歌曲、

ピアノ曲、室内楽曲、声楽曲など数多くの名曲を残しました。が、  
名ピアニストとしてもその名を馳せていました。

そこにはチェンバロからピアノ(当時の呼び名はフォルテピアノ)  
という、鍵盤楽器の主役の過渡期と深い関わりがありました。

父親から  
早期の音楽教育…

ザルツブルグ大司教宮廷楽団のヴァイオリ  
ン奏者であった父親レオポルド(1719-1787)  
に姉のナンネルとともに4歳からピアノ、  
5歳からは作曲の手ほどきを受けた。

偉大な作曲家たち  
との出会い…

1764年ロンドンでのJ.S.バッハ(1685-1750)の末  
っ子、作曲家ヨハン・クリスチャン・バッハ(1735-1782)  
との出会いは、その影響を初期のピアノ協奏曲に見出  
すことができるといわれている。またウィーンに居  
を移した1781年頃からハイドン(1732-1809)と  
の交流が始まったが、お互いの作品を批評し、  
感化し合ったと伝えられている。



▲クリストフォリ考案のアクション

フォルテピアノ  
「シュタイン」と「ヴァルター」  
との出会い…

マンハイム～パリの演奏旅行中、1777年にアウグスブル  
グでフォルテピアノ「シュタイン」と、1781年にフリー  
の作曲家・ピアニストとしてウィーンに居を移した後、更  
に改良されたフォルテピアノ「ヴァルター」と出会う。  
これら改良・発展途上にあつた鍵盤楽器フォル  
テピアノとの出会いは、彼のピアノ作品  
創作に多大な影響を与えた。

「マンハイム楽派」  
から受けた強い刺激…

1777年から1779年のマンハイム～  
パリの演奏旅行でのマンハイム楽派か  
らの影響は、新たな創作スタイルを  
示唆した節目となった。

人間の感性を見直す

主要三和音のハーモニーに包み込まれた自由  
奔放なメロディーが、250年の時を越えて親しく  
語りかけてくれる、これこそがモーツァルトの魅力  
なのかも知れません。

現代は、過去の人類が求めた「夢見た時代」で  
あると同時に、人類の歴史が招いた「混迷の時代」  
とも言えるでしょう。このような時、過去の人類が  
未来に何を求め、何を語り継ぎたかったのか、とい  
う真実をもう一度考えてみる事が大切です。なぜ  
なら私たちも未来に語り継ぐ立場にいるからです。

私たちに親しく語りかけてくれるモーツァルトは、  
現代人の心を癒す「心優しい語り部」かも知れま  
せん。モーツァルトのピアノ作品をモーツァルト時  
代の繊細な音色で聴いてみませんか?素朴で純  
粋な感性を今一度呼び覚ましてくれる、そんな素  
敵な音色に違いありません。

f モーツァルト時代のフォルテピアノと現在のピアノとの違いは…?

● 構造上の主な違い ●

【モーツァルト時代】		【現在】
打弦機能	# 発音	打弦機能
約60鍵(5オクターブ程度)	# 音域	通常88鍵(7オクターブと4分の1)
木製	# フレーム	金属製
鹿のなめし革	# ハンマーの先	フェルト
膝ペダル	# ペダル	足ペダル

チェンバロとピアノはどう違うの…?

1709年フィレンツェのメディチ家の楽器係クリストフォリ(1655-1731)が、  
弦を鳥の羽根の軸ではじいて音を出すチェンバロを、先を羊皮紙で固めた  
木製ハンマーで打って音を出す機能に改良。この発明は音量の強弱を可能  
にし、響きも豊かにさせた。当時はピアノからフォルテが出せるチェンバロ  
(Gravicembalo col piano e forte)と呼ばれた。

# 音の違い

フレームは現在のような金属製ではなく木製。従って弦の張力が弱く音程  
は現在より低い。ハンマーが指先程度の小さなものだったことから鍵盤は  
軽く音量は弱めであった。音色は低音域が深みを帯び、高音域はモーツァル  
トのピアノ作品の特徴とも言える繊細で透明感漂う味わい。



チェンバロ



フォルテピアノ(ハンマーフリューゲル)

ピアノの歴史(西洋楽器の進化)

18世紀のウィーンへ  
タイムスリップした気分を味わってみては如何ですか?

収録曲/モーツァルト ピアノソナタ KV330 第2楽章 演奏/兼重直文  
モーツァルト時代のフォルテピアノを現在のピアノと比較して聴いて  
みて下さい。また、一味違った醍醐味を体験できます!

【URL】 <http://www.mie-u.ac.jp/home/X/items/007/>



三重大学教育学部・教授  
Kaneshige, Naofumi 兼重 直文